

まちづくりの方向性

- ### ● 安全・安心の確保

- ・都市基盤整備、湾口防波堤・公共ふ頭等港湾施設の復旧、防潮堤・水門・グリーンベルトの整備、中番庫地区への新たなアクセス道の整備
 - ・津波避難場所の整備とネットワーク化、下水道の再整備、見守り等地域ネットワークの構築

- #### ●公共施設の整備

- ・災害復興公営住宅、幼保一体型こども園の複合整備、鈴子地区への消防庁舎整備
 - ・新市庁舎の整備、市民文化会館、集会施設、消防出所の整備

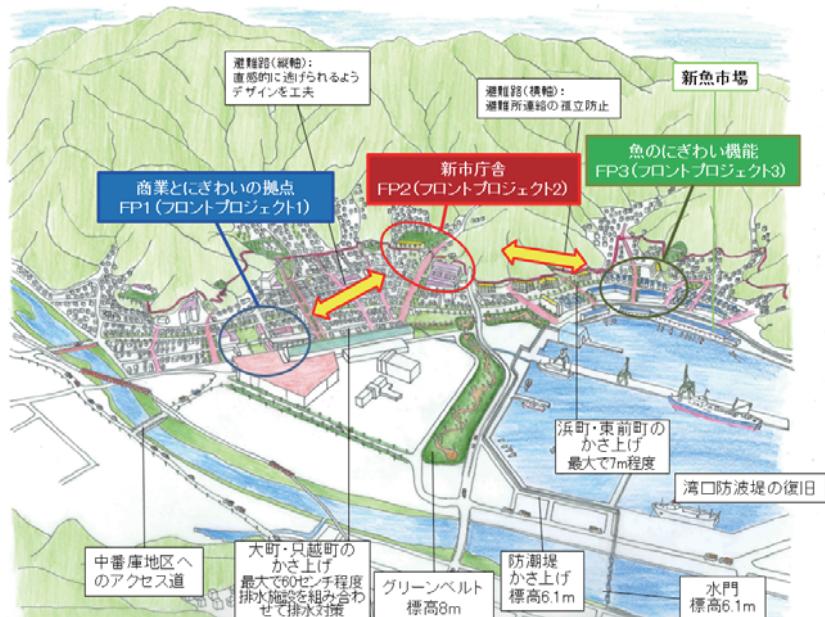
- ### ● 産業の再生

- ・既存産業の復旧・復興、雇用の場の確保、大型商業施設と併せた新たな商業空間の整備
 - ・新魚市場の整備と魚河岸地区水産資源活用拠点、ウォーターフロントにぎわい拠点整備
 - ・臨港地区の機能復旧と利用促進

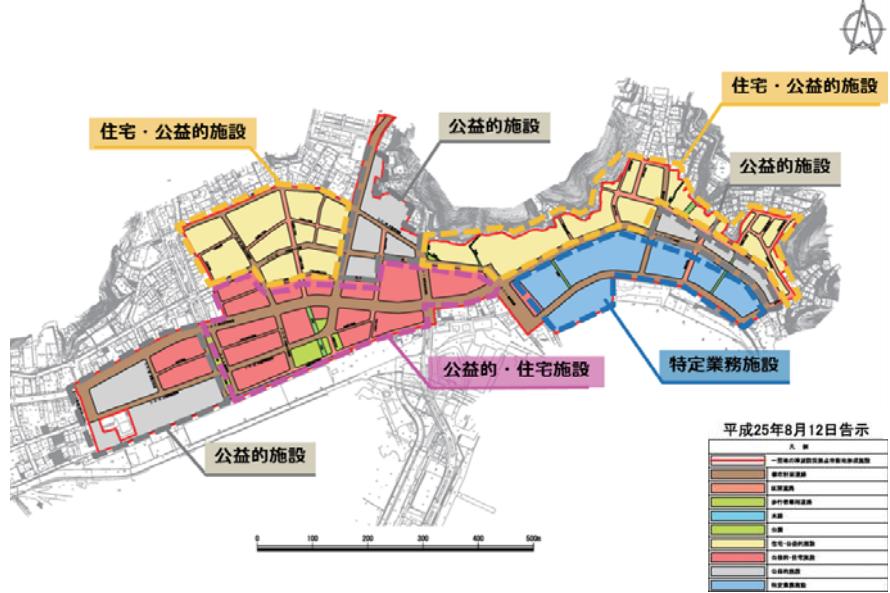
- ## ●震災メモリアルの継承

- ・震災メモリアルパークの整備検討

将来四

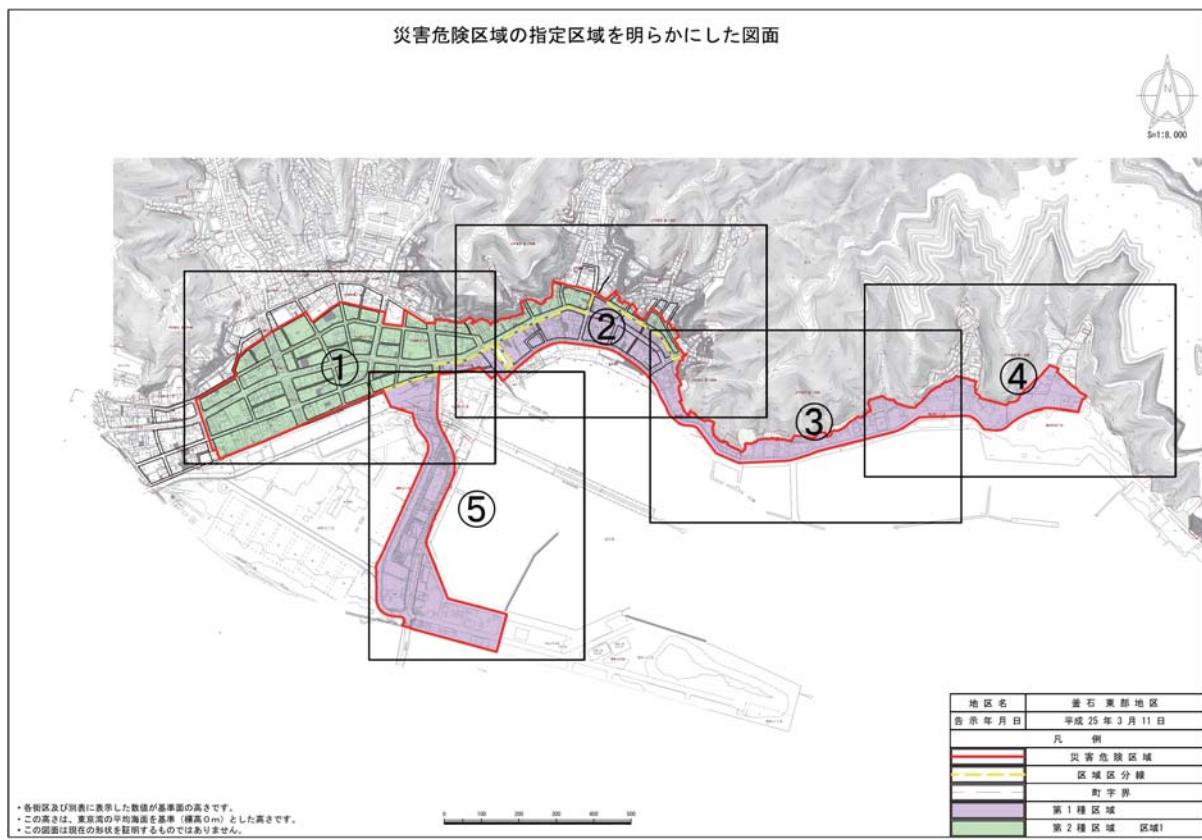


土地利用計画図



東部地区

災害危険区域



工程表

住宅整備 《復興公営住宅 430戸》										
事業	内容	予定戸数	工程	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
復興公営住宅建設事業	集合	430戸	建設工事							
津波復興拠点整備事業（東部）	用地整備	用地買収								
		造成								
漁港施設機能強化事業（新浜町）	用地整備	用地買収								
		造成								

生活環境の整備										
事業	内容	工程	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
釜石港海岸整備	防潮堤 L=2,100m 水門等 N=19基	工事								
	防波堤 L=1,660m									
	防潮堤 L=1,800m 水門 N=6基									
	防波堤 L=1,120m 岸壁 L=1,898m									

東部地区

FP1 商業とにぎわいの拠点整備

共同店舗

- 建築面積: 478 m²
- 延床面積: 564 m² (テナント区画合計: 450 m²、その他: 114 m²)
- 構造: 鉄骨造 2階建て
- 区画: テナント 9区画 (各 10坪~25坪)
- オープン: 平成 26年 11月

地域住民にとって生活の利便・買物利便の向上に取り組むとともに、地元商業復活の先導施設として、津波被災により甚大な被害を受けた商店街の再建を促進する。被災した地元商業者等を入居テナントとし、岩手県中小企業復旧・復興支援補助事業を活用した整備を行った。

市民広場

- 整備面積: 南側広場 約 2,300 m²
北側広場 約 1,000 m²
- 付帯施設: 大階段 (大型商業施設へのアクセス階段)、連絡デッキ (立体駐車場↔共同店舗↔市民広場↔大型商業施設)
- 供用開始: 平成 27年 3月

中心市街地再生のシンボルとして、人々が気軽に訪れる、くつろげる場所として計画する。各施設をつなぐ回遊の場であると同時に、既存商店街と大型商業施設をつなぐ軸となる。

平常時は来訪者にとって憩いの場となり、催事の際には文化、商業の様々なイベント空間として利用できる広場は、市民活動に好適であるとともに、都市の震い空間として整備する。

公共駐車場 (釜石大町駐車場)

- 収容台数: 475 台 (専用者対応 2台)
車両総重量 2.1t 以下の乗用自動車
- 構造: 鉄筋コンクリート構造
- 延床面積: 12,065.21 m²
- 付帯施設: エレベーター2台
- 供用開始: 平成 26年 3月

生活利便施設があると同時に、一時避難場所を兼ねた耐震・耐津波バリアフリー駐車場として整備することで、安全・安心な拠点形成を実現する。

市民ホール

- 延床面積: 約 1,000 m²
- 主な施設: 大ホール (800席以上)、小ホール、ギャラリー、練習室等
- 供用開始: 平成 27年 9月

「市民に愛され、市民の心を熱くする、市民文化の発展と支援施設」を基本理念とし、被災した釜石市民文化会館の代替施設。

中心市街地復興の核施設であると同時に、釜石東部地区津波復興拠点整備事業区域内において、災害時の避難者收容施設となる津波防災拠点施設として整備する。

復興公営住宅

- 規模: 8階建て 41戸
■その他: 店舗 (テナント)
- 入居開始: 平成 25年度
- 規模: 6階建て 24戸
■入居開始: 平成 25年度

東部地区430の復興公営住宅のうち、2棟65戸程度をフロントプロジェクト1エリア内に整備する。

情報交流センター

- 延床面積: 約 1,300 m²
- 構造: 軽量鉄骨造 2階建て
- 主な施設: ラウンジ、ワークスペース、カフェ、テナント等
- 供用開始: 平成 27年 4月

市民や来訪者が気軽に訪れることができ、釜石に関する情報の収集と発信する施設とする。市民ホールとともに震災復興・市民文化の発展を支え、にぎわい創出に寄与する役割を担う。

釜石東部地区津波復興拠点整備事業における被災者コミュニティ活動支援施設として整備する。

(記載の計画内容は、平成 26年 5月末時点のものです。)

FP3 魚の復活と魚河岸地区のにぎわい創出

魚市場の整備と核を集積の水産加工施設への背後地して、親水空間や広場などにぎわい施設を整備し、FP1並びにFP2とさせる連携プロジェクト



東部地区

震災前(平成17年撮影)



震災後(平成24年撮影)

